

0

DERWENT-ACC-NO: 1999-496470

DERWENT-WEEK: 199942

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Umbrella supporting strap structure for supporting on
wrist or shoulder - has detachable fasteners provided at
both ends of hanging portion

PATENT-ASSIGNEE: NOMA K[NOMAI]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0293134 (September 18, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 11089614 A	April 6, 1999	N/A	003	A45B 001/04

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 11089614A	N/A	1997JP-0293134	September 18, 1997

INT-CL (IPC): A45B001/04, A45B003/00 , A45B009/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11089614A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A hanging portion (1) is attached to a fixed portion (2) which is provided with a mounting portion (5) for attachment to an umbrella. The hanging portion is provided at both ends with detachable fastenings (3,4)

USE - For supporting on wrist or shoulder.

ADVANTAGE - Separate bag for carrying umbrella is not needed as strap is used for carrying umbrella. Hands are free as umbrella is supported on wrist or shoulder. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows perspective view of the supporting strap. (1) Hanging portion; (2) Fixed portion; (3,4) Detachable fastenings; (5) Mounting portion.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/8

TITLE-TERMS: UMBRELLA SUPPORT STRAP STRUCTURE SUPPORT WRIST SHOULDER DETACH
FASTEN END HANG PORTION

DERWENT-CLASS: P24

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-369989

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-89614

(43)公開日 平成11年(1999) 4月6日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 4 5 B 1/04
3/00
9/02

A 4 5 B 1/04
3/00
9/02

B
A
Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平9-293134

(22)出願日 平成9年(1997) 9月18日

(71)出願人 595148501

野間 和栄

東京都大田区田園調布 1丁目 8番20号

(72)発明者 野間 和栄

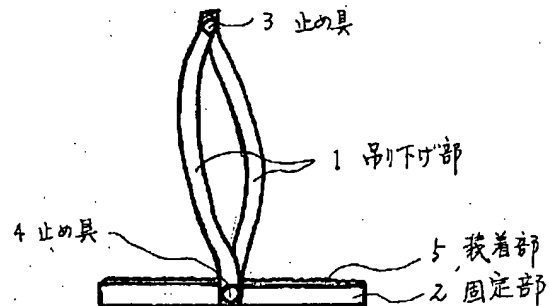
東京都大田区田園調布 1丁目 8番20号

(54)【発明の名称】 傘用柄補助具

(57)【要約】

【課題】傘をささないときの傘の携帯の不便を解消し、肩に掛けたり、手首に掛けたりするための傘用柄補助具を提供する。

【解決手段】傘に取り付ける為の装着部(5)を有する固定部(2)に、吊り下げ部(1)を設ける。吊り下げ部(1)には、肩掛け用を、手首掛けように短くするための着脱自在のフックなどの止め具(3)と(4)を設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】装着部(5)をもつ固定部(2)に吊り下げ部(1)を取りつけ、吊り下げ部(1)に着脱自在の止め具(3)と(4)を設けた傘用柄補助具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、傘用柄に取りつけて、携帯時に肩に掛けたり手首にはめて、手に持つ煩わしさと置き忘れを解消する傘用柄補助具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来よりささない時の傘の携帯は、手に持ち歩く煩わしさが付きまとい、また手を使う作業の妨げにもなった。荷物の多いときの傘の携帯は不便であった。歩行時の傘の持ち方によっては、周囲に迷惑がちなものであった。手を使う用事のとき傘を寸時手放すために置き忘れしがちであった。傘をさしているときにも邪魔にならずに、しかもささない時の傘を携帯しやすく、置き忘れ防止にもなる、このような傘用補助具がなかった。常に傘と一体になっている傘用柄補助具がなかった。傘携帯用の傘袋は、傘をさしているとき邪魔であった。手持ちの傘・日傘・ステッキ・杖など携帯しにくいものに簡単に装着できるものがなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

イ. 傘をささない時の傘の持ち歩きは煩わしかった。
ロ. 傘を手を持っていると、手を使う自由を奪われた。
ハ. 両手に荷物を持つときの傘の携帯は苦勞であった。
ニ. 持ち歩き方によっては、周囲に迷惑がかかった。
ホ. 置き忘れやすかった。
ヘ. 傘を手を持っているために他の手荷物が持ちずらく、制約された。
ト. 傘とは別途に傘袋を用意するのは煩わしく、また傘をさすときは邪魔であった。
本発明は、以上の欠点を解決するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】固定部(2)に吊り下げ部(1)を設ける。吊り下げ部(1)には、肩掛け用を手首掛け用に短くするための着脱自在の止め具(3)と(4)を設ける。固定部(2)には傘取りつけのための装着部(5)を設ける。

【0005】

【実施の形態】本発明を使用するときは、固定部(2)に設けた装着部(5)を傘の柄にとりつけることにより、吊り下げ部(1)に肩を通し、傘を下げることができる。止め具(3)と(4)をセットすることによって吊り下げ部(1)を短くすることができるので、手首に下げることができる。したがっていずれかの方法で携帯時の傘を手にしたずにすむ。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例を述べる。

(イ) 各種材質による紐状または、テープ状の吊り下げ部(1)を傘装着用の固定部(2)に取りつける。

(ロ) 吊り下げ部(1)に、ボタンまたはフックなど、あるいはそれにかわる止め具(3)と(4)をつける。

(ハ) 吊り下げ部(1)を持つ固定部(2)に傘取りつけ用装着部(5)を設ける。

本発明は以上の構成よりなっている。本発明を使用するときは、吊り下げ部(1)を柄と同じ方向になるようにして、固定部(2)に有する装着部(5)を傘の柄にとりつける。傘の携帯時、吊り下げ部(1)を使って肩から下げる場合は、ショルダーバックと同じように吊り下げ部(1)に腕を入れ肩に掛けて傘を下げる。肩に掛けずに持ち歩く場合は、吊り下げ部(1)に有する着脱自在の止め具(3)と(4)をあわせて、吊り下げ部(1)を短くし、それに手首を通して傘を保持または携帯する。このようにして、傘がぬれているときも、ぬれていないときも、長短自在の本発明により、ささない時の傘を握ることなく、両手の自由を保持できる。従って、荷物の多いとき、買い物など手を使いたいとき、持ち歩くのが面倒なとき、これらを邪魔することがない。また、傘を手放すこともなくなるので、置き忘れ防止にもなる。傘を東直に保持、携帯できるので周囲への迷惑や危険の防止にも役に立つ。雨傘・日傘・ステッキ・杖のような長く又携帯しづらいものに簡単に装着できる。装着部(5)を後付けでなく、リング・ネジ・接着または、柄に穴をあけて通すなどして当初より装着済みとすることもできる。どのような装着方法においても、手に握らずに肩掛け、または手首掛けによって傘を携帯することができる。

【0007】

【発明の効果】本発明を使用することによって、ささずに携帯する傘を手にしたずに済むので手ぶらと同等の効果が得られ、置き忘れ防止にもなる。軽く、邪魔にならないので、雨傘・日傘・ステッキ・杖と子供から高齢者までバリアフリーで使用範囲は幅広い。さしているとき邪魔にならず、傘と一体になっているので取り外したりする面倒がない。別途に傘袋などの用意をする煩わしさが無い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図

【図2】本発明の応用の斜視図

【図3】本発明の応用の斜視図

【図4】本発明の応用の斜視図

【図5】本発明の使用状態を示す斜視図

【図6】本発明の他の使用状態を示す斜視図

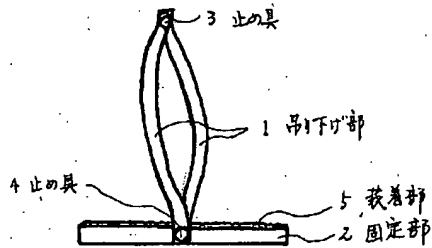
【図7】本発明の他の使用状態を示す斜視図

【図8】本発明の他の使用状態を示す斜視図

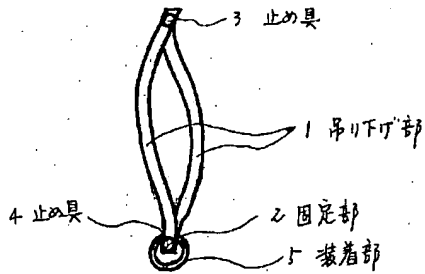
【符号の説明】

- 1 吊り下げ部
2 固定部
3 止め具

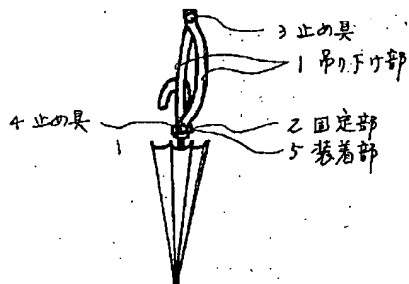
【図1】



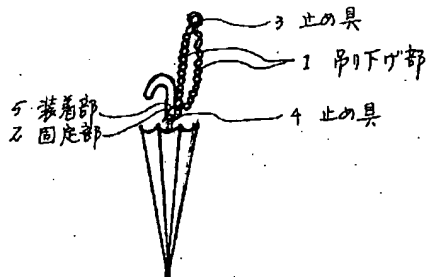
【図3】



【図5】

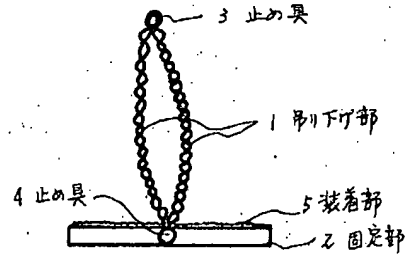


【図7】

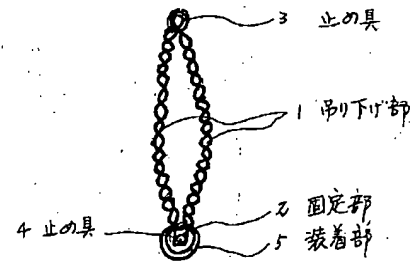


- 4 止め具
5 装着部

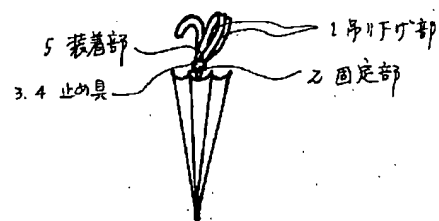
【図2】



【図4】



【図6】



【図8】

